# 目次

WireGuard VPN 設定		1
Firewallの設定	1	1
WireGuardの設定		3
本装置の設定		3
対向側(Peer)の設定	Ţ	5
ステータスの確認	-	7

# WireGuard VPN 設定

# Firewallの設定

WireGuardで使用するポート番号を許可しておきます。

Firewall 設定をクリックします



"Add Filter Entry" をクリックし、ルールを追加します。

Firewall	設定									
Zone 設定			DNAT #	掟						
									1	臣
	Reorder	No.	In	Out	Sirc	Service	Protocol	Port	Action	Add Filter Entry
	٠	1	WAN	Router		ssh			ACCEPT	/ 0
										設定

WireGuard で Listen するポート番号を許可する設定を入力し、"SAVE"ボタンをクリックします。

Filter 追	חמ				
in W	Zone AN	Ţ	Out Zone Router	Ţ	
<u>Sc</u>	ource Address				
Se	ervice				
Pr UI	otocol DP	<b>.</b>	Port Number 51821		
	CCEPT				
				CANCEL	SAVE

#### 設定例

項目	設定値
In Zone[]	WAN
Out Zone[]	Router[]
Protocol	UDP[]
Port Number[]	51821[]
Action[]	ACCEPT

### 設定 ボタンをクリックします。

									±+
Reorder	No.	In	Out	Src	Service	Protocol	Port	Action	Edit
÷	1	WAN	Router		ssh			ACCEPT	/ =
÷	2	WAN	Router			UDP	51821	ACCEPT	/ =
									設定

## WireGuardの設定

WireGuardの設定を行います。

## 本装置の設定

左側のメニューより[]WireGuard 設定」をクリックします。

6	機器情報
Netwo	rk 関係 へ
	Ethernet 設定
(îr	Wireless 設定
C»	LTE 設定
•	Static Route 設定
IP	DHCP Server 設定
•	DynamicDNS 設定
\$	Firewall 設定
8	WireGuard 設定
8	疑似 Modem 設定
装置設	

本装置側の設定を行います。

WireGuard 接続有効	
Tunnel IP Address/Prefix	Listen Port
10.100.0.10/32	51821
WireGuard PublicKey	
WileGualu Fublickey	
	7 1550/08/9/ 2000 1508/08/19/9

#### 本装置がサーバ側の場合

項目	内容	値
WireGuard 接続有効	WireGuard を使用するかどうかを選択します	
Tunnel IP Address/Prefix	VPN 用の IP アドレスです[]WireGuard で構成する VPN にて、本装 置が使用する任意のアドレスを設定します	例:10000024
Listen Port	WireGuard が Listen するポート番号を設定します	
WireGuard PublicKey	本装置で生成した公開鍵が表示されています	

#### 本装置がクライアント側の場合

項目	内容	値
WireGuard 接続有効	WireGuard を使用するかどうかを選択します	
Tunnel IP Address/Prefix	VPN 用の IP アドレスです□WireGuard で構成する VPN にて、本装 置が使用する任意のアドレスを設定します	例:1010001032
Listen Port	空欄にします	
WireGuard PublicKey	本装置で生成した公開鍵が表示されています	

## 対向側(Peer)の設定

対向側の設定を行います。

Add Peer をクリックします。

Pee	r設定			
Peer	Port	Allowed IPs	KeepAlive	Add Peer Edit/Delete
		Peerが登録され	れていません。	

#### 対向側との接続に必要な情報を設定します。(全ての設定が終わったら[]SAVE[]をクリックします)

Peer 追加	D							
	Peer PublicKey							
	Peer Address 10.10.10.1		Peer Port 51821		KeepAlive On			
	Allowed IPs AllowedIP [1] 10.100.0.1/32	Add Allowed IP E	ntry II					
	AllowedIP [2] 192.168.211.0/24		۵					
					CANCEL	SAVE		

#### 本装置がサーバ側の場合

項目	内容						
Peer PublicKey	対向のクライアント側で生成した公開鍵を設定します						
Peer Address	空欄に設定します						
Peer Port	空欄に設定します						
KeepAlive On	NAT を保持するための KeepAlive 送信を行うかどうかを選択します。サーバ 側の場合は無効						
Allowed IPs	本装置への接続を許可する、対向側端末の VPN 用の IP アドレスを設定しま す。 <sup>2)</sup>	例:1010001/32					

#### 本装置がクライアント側の場合

項目	内容	値
Peer PublicKey	対向のサーバ側で生成した公開鍵を設定します	
Peer Address	対向のサーバ側の WAN 側の IP アドレスを設定します	例:10.10.10.1
Peer Port	対向のサーバ側のWireGuardが、Listen するポート番号を設定します。	
KeepAlive On	NAT を保持するための KeepAlive 送信を行うかどうかを選択します。本装 置が NAT 配下にある場合は有効に選択します。	
Allowed IPs	WireGuard 経由で通信するネットワークアドレスを設定します。 <sup>3)</sup>	例:1010001/32 192.168.211.0 /24

#### 設定 ボタンをクリックします。

Peer	Port	Allowed IPs	KeepAlive	Edit/Delete
[Client]	Dynamic	1 entry.	Yes	/ •
				設定

## ステータスの確認

ステータスをクリックし、接続状況を確認します。

WireGuard VPN 設定						
設定						
ł	Interface wg0					
	Endpoint	Latest Handshake	Sent [Bytes]	Received [Bytes]	KeepAlive	
	220.151.150.170:53907	2021/12/27 17:08:46	274752	276864	Yes	

項目	説明
Endpoint	対向側の グローバルIPアドレス:ポート番号
Latest Handshake	最後に応答があった時間

項目	説明
Sent [Bytes]	送信したパケット量 [Bytes]
Received [Bytes]	受信したパケット量 [Bytes]
KeepAlive	本装置の KeepAlive 設定が有効かどうか <sup>4)</sup>
1)	

Client を複数接続することを想定

2)

"Add Allowed Entry"をクリックし追加します 3)

"Add Allowed Entry"をクリックし複数選択可能です。

4)

YES か No が表示されます

From: https://centurysys.jp/ - MA-X/MA-S/MA-E/IP-K Developers' WiKi

Permanent link: https://centurysys.jp/doku.php?id=mas1xx\_ope:use\_webui:wireguard\_vpn\_setting:start

Last update: 2022/01/07 19:29